

河川整備の進捗状況について

整備計画メニューの進捗状況

河川名	事業メニュー	平成21年～平成30年	令和元年(平成31年)～
淀川	阪神なんば線淀川橋梁架替	平成29年度 着手	令和14年度 完了予定
宇治川	宇治川塔の島改修	平成30年度 完了	
	天ヶ瀬ダム再開発	平成25年度 着手	令和3年度 完了予定
桂川	桂川大下津地区引堤		令和5年度 完了予定
	桂川河道掘削 (嵐山地区含む)	平成26年度 着手	令和元年度 完了
		緊急治水対策	令和元年度 着手
			令和2年度 概成予定
			嵐山左岸溢水対策
木津川	川上ダム		令和4年度 完了予定
(共通)	堤防強化		令和元年度 完了
	淀川		令和元年度 完了
	宇治川	平成28年度 完了	
	桂川		令和2年度 完了予定
	木津川下流		令和2年度 完了予定

宇治川

- 堤防補強は完了
- 平成25年台風18号では堤防からの漏水を確認。（当該箇所は対策完了）
- 塔の島地区の河川改修は平成30年度に完成し、河川整備基本方針の1,500m³/sの流下能力を確保



出典：淀川水系における中上流部の河川改修の進捗状況とその影響検証にかかる委員会(H31.1) 第1回委員会資料 抜粋

天ヶ瀬ダム再開発

- 事業進捗は、事業費ベースで令和2年度末約82%（予定）であり、令和3年度末完成予定

■事業目的

- 【治水】放流能力を增強し、ダムの治水容量をより効果的に活用することで、天ヶ瀬ダムの洪水調節機能を強化。
- 【利水】1日あたり51.840m³の水道用水を新たに安定して供給。
- 【発電】需要電力の多い洪水期にも110,000kWの電力を新たに供給。

■工事進捗状況写真(R2.6時点)



出典：淀川水系における中上流部の河川改修の進捗状況とその影響検証にかかる委員会(H31.1) 第1回委員会資料 及び 第14回 淀川水系ダム事業費等監理委員会 (R2.8) 資料-2より 抜粋

木津川下流部

- 河川整備計画の4,900m³/sの流下能力を確保済み
- 木津川下流部では、堤防強化を優先して実施しており、令和2年度完了予定
- 平成29年台風21号では堤防からの漏水を確認。(当該箇所は対策完了)
- 令和元年台風19号で再び堤防からの漏水を確認。現在、経過観察中

木津川堤防補強の実施状況



漏水状況 (H29T21)



出典：淀川水系における中上流部の河川改修の進捗状況とその影響検証にかかる委員会(H31.1.) 第1回委員会資料 及び平成30年度近畿地方整備局研究発表会 論文集「平成29年台風21号による木津川基盤漏水の調査報告」より抜粋

川上ダム

- 令和元年9月20日に本体コンクリート打設に着手し、令和2年9月に全体の約67%となる30万 m^3 の打設が完了
- 令和4年度完成予定

■事業目的

- 【治水】当該ダムの建設される地点における計画高水流量850 m^3/s のうち780 m^3/s の洪水調節を行う。
- 【利水】伊賀市の水道用水として最大0.358 m^3/s の取水を供給。
- 【流水の正常な機能の維持】前深瀬川及び木津川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進。高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム及び比奈知ダムの堆砂除去のための代替補給。

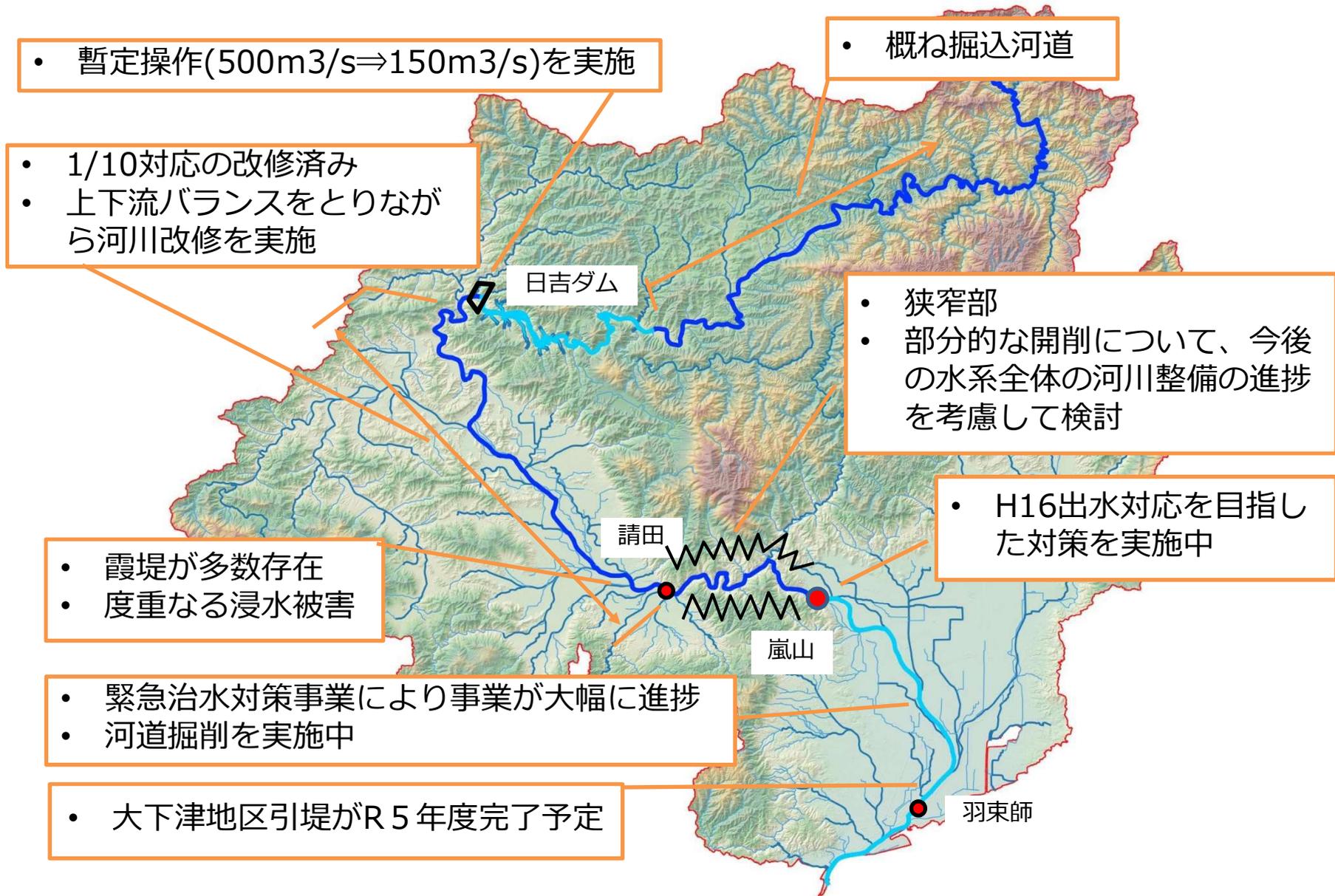
■工事進捗状況写真

(2020年10月末撮影)



出典：淀川水系における中上流部の河川改修の進捗状況とその影響検証にかかる委員会(H31.1) 第1回委員会資料一部修正 抜粋

桂川



桂川下流部

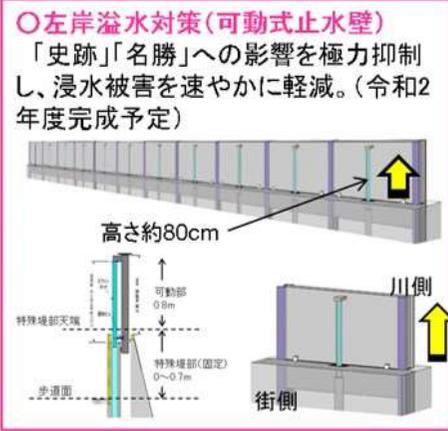
- 平成25年台風18号による堤防越水をうけ、緊急治水対策事業(H26～R1)により、井堰撤去、河道掘削、引堤等の事業が大幅に進捗
- 河道掘削
 - 戦後最大出水対応の約360万m³に対して約160万m³ 完了
 (※平成16年出水対応の残りの掘削量は約60万m³) 【データはいずれも令和元年度末】



出典：淀川水系における中上流部の河川改修の進捗状況とその影響検証にかかる委員会(H31.1) 第1回委員会資料 抜粋

嵐山地区

- 平成16年出水対応のため、「可動式止水壁による左岸溢水対策」「一の井堰改築」「派川改修」の3つの対策をセットとして推進中
- 左岸溢水対策は、令和元年度から工事着手し、令和2年度末概成予定で、令和3年の出水期から効果発現
- 「一の井堰改築」「派川改修」については、現在、検討中。「一の井堰改築」は、地元を含む関係機関による協議会により調整を実施予定。



○一の井堰改築
 京都府・市を含む協議会を設立し、京都府・市・国土改良区により、改築に向けた議論を開始。

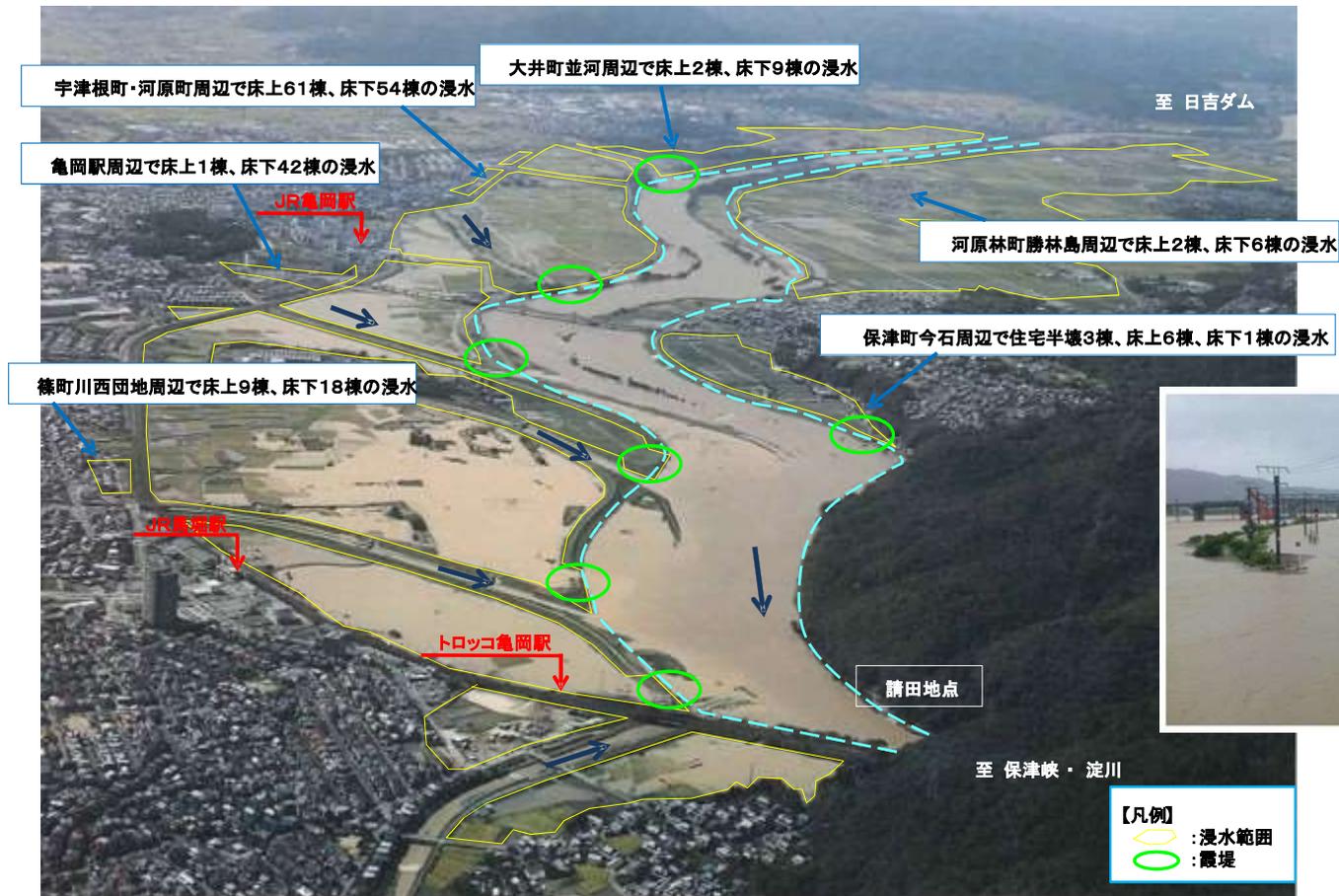
施設設元(京都府管理)
 築造年次: 昭和26年
 延長: 151.6m 堰高: 1.8m
 取水量: かんがい期 6.92m³/s



桂川本川(京都府管理区間)の被害状況

- 桂川本川には霞堤が多数存在し、洪水の一時的な流入により下流の流量を低減する役割を果たしているものの、亀岡地区の堤内地で度重なる浸水被害が発生

■平成25年台風18号 亀岡地区浸水状況(総雨量 284mm 亀岡観測所)



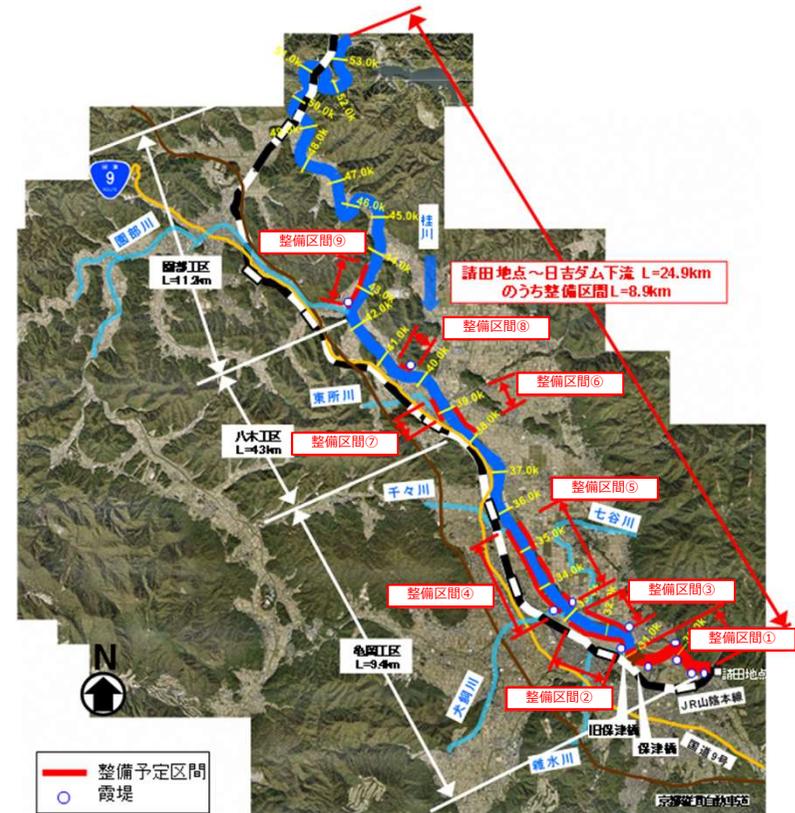
JR亀岡駅浸水状況



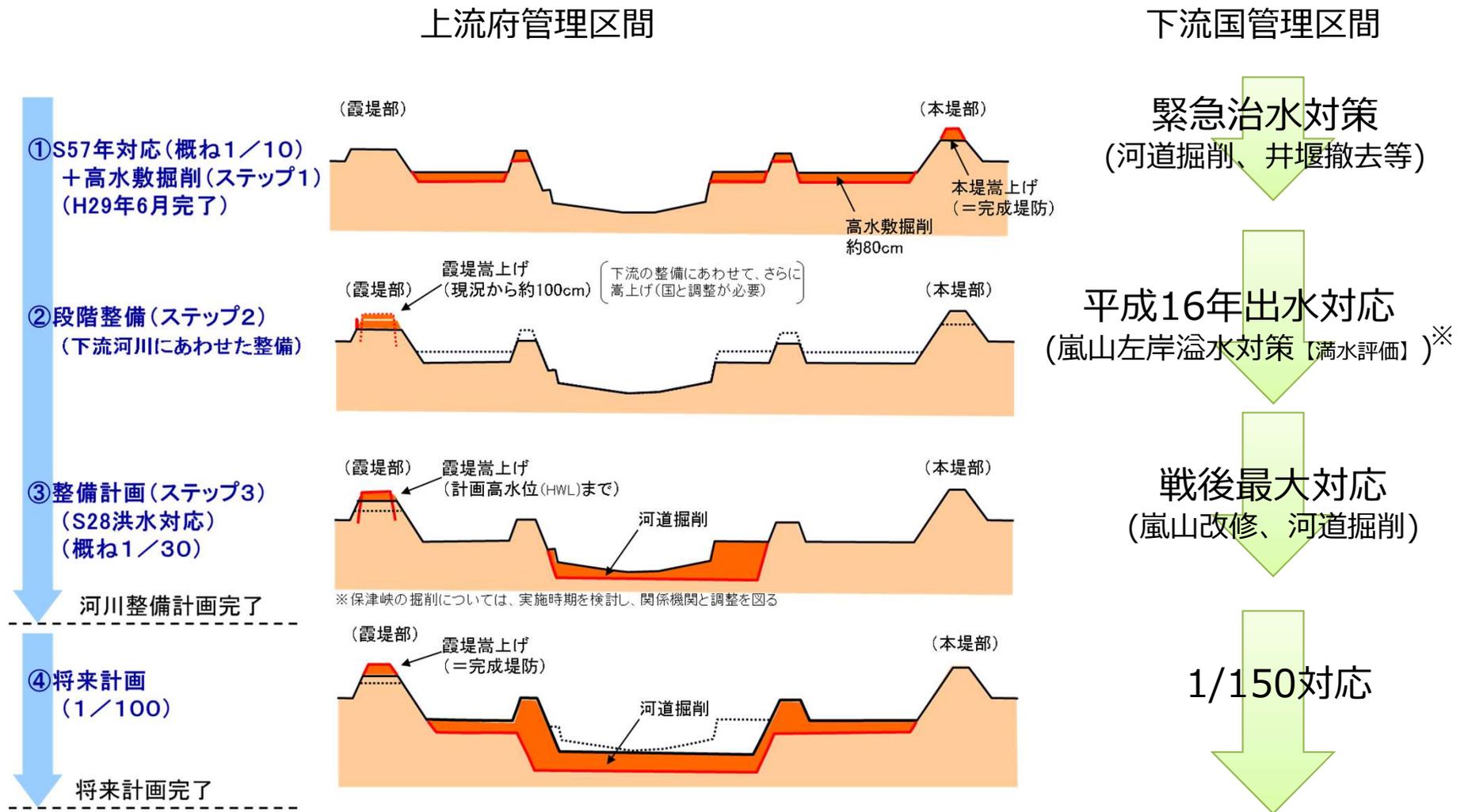
桂川本川(京都府管理区間)の整備

- 当面計画(昭和57年出水対応(1/10相当))の河道掘削等が平成21年度に完成
- 平成22～29年は、護岸整備及び河道掘削を実施(ステップ①)
- 現在、暫定計画として霞堤1m高上げを実施中(ステップ②)
- 下流との上下流バランスをとりながら、今後、整備計画(昭和28年出水対応(1/30相当))として霞堤のHWLまでの高上げを実施予定(ステップ③)
- 将来計画(1/100対応)のメニューとしては、霞堤の完成堤までの高上げや保津峡の部分開削などがある

整備区間	当面計画	ステップ①	ステップ②・③
	～平成21年 (当面計画 概ね1/10)	平成22年～平成29年6月 (当面計画 概ね1/10+掘削)	整備計画(平成30年8月) (暫定計画 下流みあい、概ね1/30)
亀岡地区	整備区間① (保津工区) 保津工区引堤(H8～H21) 護岸整備、用地買収	高水敷掘削、護岸整備	河道掘削、護岸整備、霞堤の高上げ、橋梁改築、支川の背水区間の築堤等
	整備区間②	(その他区間：護岸整備)	堤防強化、霞堤の高上げ、支川の背水区間の築堤等
	整備区間③		堤防強化、霞堤の高上げ、支川の背水区間の築堤等
	整備区間④		堤防強化、霞堤の高上げ、支川の背水区間の築堤等
	整備区間⑤		堤防強化、霞堤の高上げ
八木地区	整備区間⑥	(その他区間：護岸整備)	堤防強化
	整備区間⑦ 井の尻団地引堤(H10～H13) 護岸整備、掘削、用地買収		堤防強化
	整備区間⑧		霞堤の高上げ
園部地区	整備区間⑨ 美里引堤(H4～H14) 護岸整備、河道掘削、用地買収	(その他区間：護岸整備)	堤防強化、霞堤の高上げ

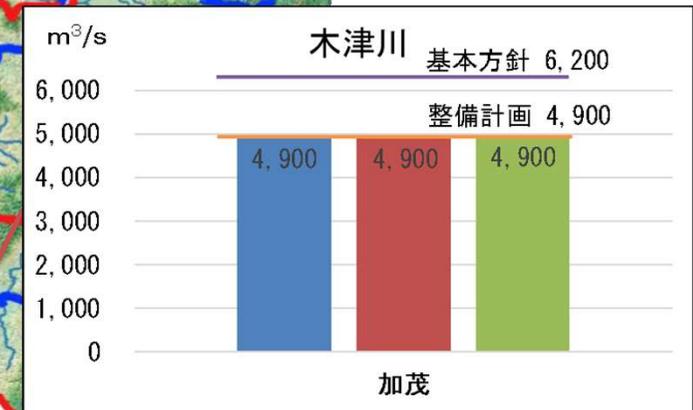
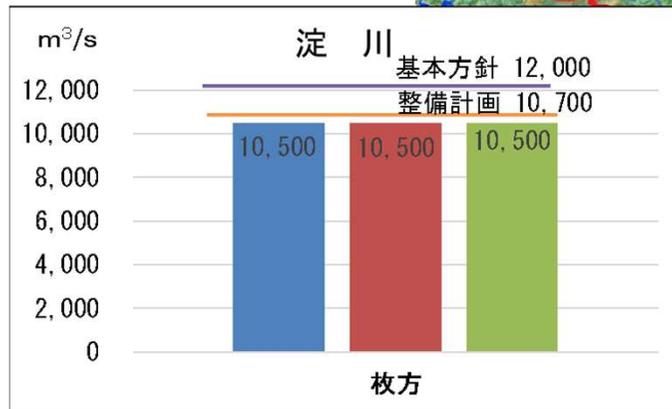
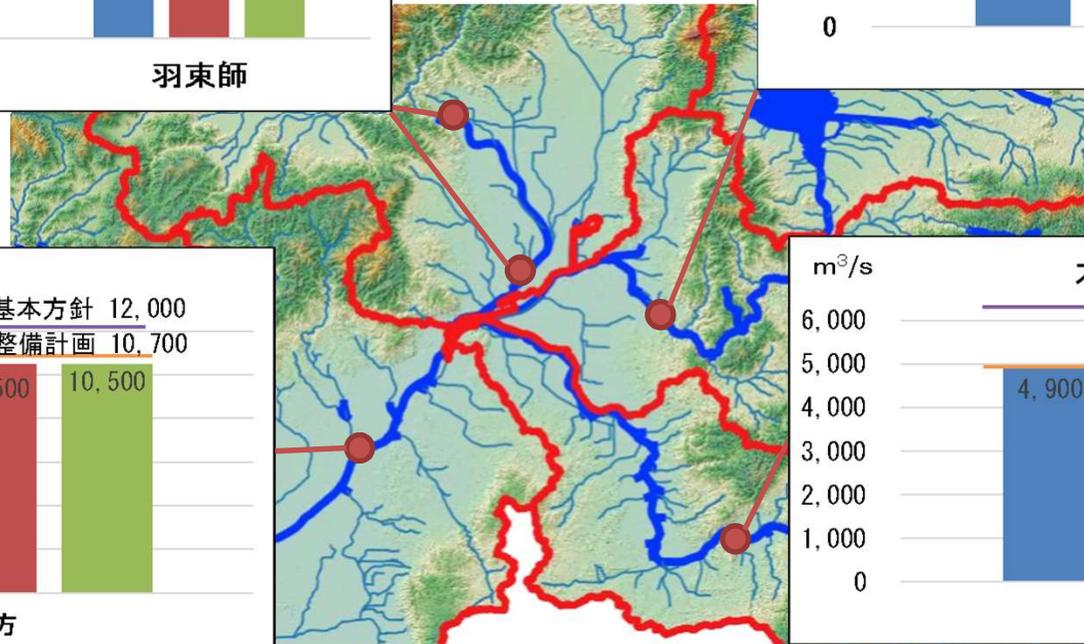
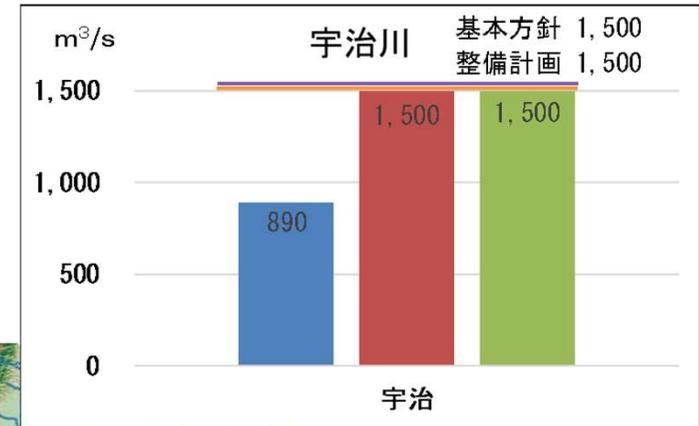
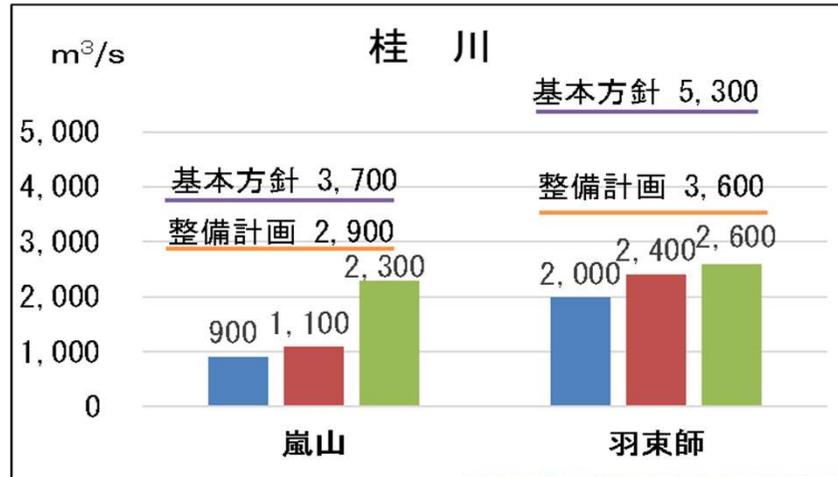


上下流バランスを踏まえた桂川上流区間の整備



※安全に流下させるためには河道掘削等が必要

各支川の流下能力の変化状況



■ 計画策定時の河川の流下能力 ■ 2018年度時点の河川の流下能力 ■ 完了目途が立っている事業完了時の流下能力

京都府としての現状評価

➤ 宇治川

- 河道は基本方針レベルまで流下能力を確保
- 平成25年台風18号により堤防から漏水が確認されたこと、天ヶ瀬ダム再開発事業の完了により流量が増加すること、沿川の開発状況などを考慮し、適切な管理と、必要に応じた堤防補強が必要

➤ 木津川

- 河道は整備計画レベルまで流下能力を確保
- 平成29年台風21号や令和元年台風19号により、堤防からの漏水が確認されたことから、適切な管理と、必要に応じた堤防補強が必要

➤ 桂川

- この10年で治水安全度は大きく向上したものの、整備計画レベルまでにはまだ大きな乖離がある
- 下流部の掘削により早期に平成16年出水対応を完了させるとともに、戦後最大出水対応のためのさらなる掘削を進める必要がある
- 嵐山地区の「一の井堰改築」は、関係機関により検討中
- 保津峡の部分的な開削について、水系全体の河川整備の進捗を図り、検討段階に入ることが必要
- 府管理区間の改修は、下流との上下流バランスをとりながら進める必要がある
- 日吉ダムの暫定操作の解消により治水安全度向上を図る必要があるが、そのためには府管理区間の治水安全度確保が前提条件となる